

カチオン系ポリマーセメント
床用防水下地調整塗材

2~10 mm厚塗りタイプ

二材型

アンダーテックスT

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

NSK - 0306310

「アンダーテックスT」はセメント・各種混和材料及び粒度調整された骨材からなる主材に、セメント粒子分散性の高いカチオンポリマーディスページョン（エマルジョン）を混和液として用いることにより、硬化体性能を向上させた床用下地調整塗材です。防水処理が必要な床・屋上の下地調整塗材として幅広く使用できます。

特長

01 優れた耐溶剤性

耐溶剤性の強いエマルジョンフィルムと、セメントの水和反応が一体化した硬化体は、耐溶剤性に優れ、ウレタン防水、シート防水の下地調整として最適です。

02 強い付着強度

カチオンポリマーディスページョンの使用により、付着強度が向上します。

03 高い仮防水機能

高密度に充填・形成された硬化体が、高い仮防水性を示し、改修工事時の仮防水機能を発揮します。

※仮防水機能のため、激しい降雨や降雪には対応できません。
※漏水の原因となるクラック等の劣化部は適切な下地処理を行ってください。
※仮防水のため、長期間放置しないでください。（目安：1週間程度）

04 優れた作業性

特殊配合により、優れたコテ作業を実現しました。

用途

- ・防水処理を必要とする床・屋上等の下地調整
- ・床改修時の仲介接着
- ・新築コンクリート床下地調整

適用下地

アスファルト防水・シート防水・ウレタン防水・コンクリート・セメントモルタル 等

●標準施工仕様

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(hr)	所要量
下地調整	アンダーテックスT 主 材：25 kg 混和液：2 kg 清 水：2~3 L	コテ	1	24以上 (20℃)	約 1.7 m ² 約 16kg/m ² (10mm厚)
		単位容積質量	練り上り容量	標準塗厚	
		約 1.8 kg/L	約 16L	2~10 mm	

- (注) ① 上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。
② 仮防水性は完全な防水材では有りません。降雨・降雪が予想されたり、下地のひび割れ等の劣化が激しい場合には、下地調整後シート養生等で漏水対策を講じて下さい。
③ 溶剤製品を次工程に施工する場合、72時間(23℃)以上の乾燥養生時間を設けて下さい。



菊水化学工業株式会社

本社 名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル

<https://www.kikusui-chem.co.jp/>

カチオン系
ポリマーセメント
床用防水
下地調整塗材

アンダーテックスT

2～10mm厚塗りタイプ

二材型

荷 姿

主 材 N E T 25 kg/袋入
混和液 N E T 2 kg/ポリ容器入

注 意 事 項 (セメント系下地調整材)

【施工上の注意事項】

- ＜下 地＞
- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行ない、含水率 10%以下、pH10 以下で施工してください。
 - 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。
- ＜環 境＞
- 夏期など、特に気温が高い場合や下地の吸い込みが著しい場合はドライアウトの原因となります。適度な水湿し、または下塗りを行ってください。
 - 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合、(高湿度、結露、降雨等) 塗膜表面が白化する場合があります。施工場所の気温が5℃以下、湿度 85%以上又は結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。
 - 外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
 - 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
 - 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
 - 施工時は換気を十分に行ってください。
- ＜施 工＞
- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
 - 施工面とその周辺(車や付帯設備を含む)や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
 - 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
 - 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
 - 表面に白華が発生した場合はブラシ等により除去してから次工程の作業を行ってください。
 - 施工箇所が高温である場合は、製品をできるだけ気温の低い所に保管し、あらかじめ冷却した水で練り混ぜてください。
 - 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。
 - 溶剤形の下塗を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。

- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行ってください。

＜保 管＞

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 製品は、湿気に注意し、水がかりを避け、パレットの上に置き、なるべく乾燥した屋内に保管してください。

【安全衛生上の注意事項】

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS(安全データシート：旧 MSDS)を参照してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて医師のください。
- 火気、スパーク等の発火源があると、粉じん爆発の恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 取扱い中は、粉じんがたたないように注意し、また、取扱い後は密閉した容器に保管してください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

取扱店

菊水化学工業株式会社

本社 名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル
☎052-300-2222(代)

仙台支店 ☎ 022-706-5710

東京支店 ☎ 03-3981-2500

名古屋支店 ☎ 0568-69-5200

関西支店 ☎ 06-7668-5320

福岡支店 ☎ 092-935-4610

●ホームページアドレス <https://www.kikusui-chem.co.jp/>

